

令和元年度 第1回安曇野市歯科口腔保健部会 会議概要

- | | | |
|---|-----------|---|
| 1 | 会議名 | 安曇野市歯科口腔保健部会 |
| 2 | 日時 | 令和元年8月9日(金) 午後7時30分から午後8時40分まで |
| 3 | 会場 | 本庁舎 共用会議室 306 |
| 4 | 出席者 | 大谷委員、堀内委員、飯嵐委員、寺島委員、出井委員、山田委員、丸山委員、
中村委員 |
| | 欠席者 | なし |
| 5 | 担当課出席者 | 高橋保健医療部長 福祉課 松澤係長 介護保険課 中澤係長、酒井保健師、
太田歯科衛生士 健康推進課 古畑課長、中澤センター長、
臼山歯科衛生士、石川歯科衛生士、堀川歯科衛生士 |
| 6 | 公開・非公開の別 | 公開 |
| 7 | 傍聴人 | 0人 記者 0人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 令和元年8月20日 |

協 議 事 項 等

【補欠委員の委嘱】

所属団体の役員改選等により2名を委嘱。任期は令和元年8月1日から令和2年7月31日まで。

【部会長指名】

佐野部会長の退任に伴い、安曇野市健康づくり推進協議会において新たに部会長として大谷委員（安曇野市歯科医師会代表）を指名。

【協議事項】

- 1 平成30年度歯科保健事業報告について
- 2 令和元年度歯科保健事業計画について
- 3 その他
 - ・「力を入れて取り組んでいる活動・事業」について

【会議事項】

- 1 平成30年度歯科保健事業報告について資料に基づき説明

【主な意見】

(委員)

- ・健康推進課の「9. フッ化物洗口」について

今年度の開始日のほとんどが6月であり、遅い学校は7月から開始になっています。以前は4月から行っていた小規模校の開始が遅れているという状況なのは何故でしょうか。

(事務局)

- ・5～6月は身体計測や検査など健診があり難しいことや異動もあり、後任の先生のことを考えて遅く設定していく傾向にあるようです。なるべく開始を早めてもらうようお願いしていきます。

(委員)

- ・理由は分からなくもないが、開始が2カ月も遅くなったり、7月に開始する学校は夏休みに入

る直前に1回しか行っていないため、養護教諭の先生とよく打ち合わせしてもらいたいと思います。

(事務局)

- ・学校へ働きかけていきますが、できれば、校医の先生からも声掛けしていただきたいと思います。

(委員)

- ・介護保険課の「(1) 訪問型サービスC」について
結果に終了者6名のうち6名全員が改善したということになっていますが、チェックリストは終わった後に行っているのでしょうか。

(事務局)

- ・評価方法は、事前と事後のアセスメント項目を点数化して評価しています。資料に記載があるもの以外にも嚙下テストや滑舌等様々な項目でみています。

(委員)

- ・改善したのであれば前後の比較を出していた方が分かり易いと思います。

2 令和元年度歯科保健事業計画について資料に基づき説明

【主な意見】

特になし

3 その他

- ・「力を入れて取り組んでいる活動・事業」について

(委員)

- ・歯科医師会では11月9日(土)に健診をメインとした「いい歯の日」のイベントを行います。
- ・来年度は6月13日(土)に歯科口腔保健市民公開講座を市役所で行う予定です。

(委員)

- ・歯科医師会でも出前講座があり、要望等あれば行っていきます。

(委員)

- ・病院内で義歯の作製をするようになり、診療日は、第2・4金曜日の午後も行うようになりました。
- ・患者さんの中で、退院後にかかりつけの歯科医院がないのであれば、継続して診せていただくという機会が増えました。

(部会長)

- ・外来の患者さんを紹介するというのはまだ受けられませんか。

(委員)

- ・それに関しては検討中です。

- ・先程のフッ化物洗口の開始時期については、校医の先生から直接学校へ話していただいたり、歯科医師会の方からも言っていたらと思いますがいかがでしょうか。

(部会長)

- ・小中学校の状況を見せてもらい前向きに検討していきたいと思います。

(委員)

- ・施設入所 40 名とグループホーム、通所利用者の方を対象におおむね月 1 回歯科衛生士に来ていただいて歯磨き指導をしています。
- ・職員の知識向上のため 1 年に 1 回施設内で研修会を実施しています。今年は嚥下機能を中心に言語聴覚士をお願いをする予定であります。

(委員)

- ・訪問看護では最近癌の末期の方で口腔内がカンジタになってしまったので、口腔内の清潔目的で入らせていただいています。歯茎が腫れていたため歯周病菌の治療薬としてうがい薬も使用し、だいぶ口がきれいになりました。歯科医師と歯科衛生士に往診に来てもらったり、パタカラ体操や嚥下訓練を行い、口の健康や機能の向上に努力しています。

(委員)

- ・カンジタの方は抗真菌薬を使っていないのですか。

(委員)

- ・カンジタは治ったが、歯磨きがうまくできず、体力が落ちていたのと再発の心配があり訪問看護を行いました。認知症も入ってきており歯磨きができないので、食物残渣をとったりうがい薬を使いました。

(委員)

- ・カンジタは必ずしも抗真菌薬を使わなければならないというわけではなく、ブラッシングのみでも良いが、癌で免疫力が落ちていて抗真菌薬が使えるのかどうか疑問に思いました。カンジタで免疫力が落ちていて一時的に薬剤を使うなら分かるが、歯周病に対して薬剤を使うという考え方は違うように思います。

(委員)

- ・歯科衛生士会では「お口いきいきアップ教室」では非常に参加者が良い反応をしてくれます。関わっている歯科衛生士もすごくやりがいを感じながら行っています。
- ・県下 5 か所の市町村で同じような教室をやりたいとのことで新たに歯科衛生士会へ事業の委託がありましたので、歯科衛生士を派遣するという形で今年度から取り組みます。
- ・フッ化物洗口のことを新聞にも載り、本当に 0.34 本は凄い数字だと思います。フッ化物洗口の効果もありますが、フッ化物洗口だけではないとみています。小児の教室や色々な事業がちゃんとツボにハマっていてその結果としてこの状況になっていると思います。あるいは地域の皆さんの歯科に対する意識も上がっているということを含めて良い活動ができていると感じています。

(委員)

- ・健康づくり推進員会では、各地域において推進員を中心として健康づくり活動を行っています。長い間取り組んでいますが、マンネリ化で地域の人たちの健康意識につながっているか不安を感じています。
- ・歯を良くすることによって色々な健康が改善されていくことが実際あると思いますので、今後健康づくり推進員の中に広めていき地域で歯科に取り組んでいけたらと思います。
- ・部会の情報を健康づくり推進員へ下ろして是非地域で講話会等を取り入れてもらえれば良いと思います。